【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和5年7月13日(2023.7.13)

【国際公開番号】WO2022/102438
【出願番号】特願2022-561825(P2022-561825)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｃ 21/26(2006.01)*
*Ｇ０９Ｂ 29/00(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ 21/26 Ｃ
Ｇ０９Ｂ 29/00 Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月26日(2023.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、過去の走行履歴に基づいて現在の走行状況が往路に該当するかを判定する判定部と、前記判定部において往路と判定された場合は、前記走行履歴に基づいて主要目的地の予測滞在時間を算出し、算出された前記予測滞在時間に基づいて復路において立ち寄りが予測される施設に到着する到着予想時刻を提示する提示部と、を備えることを特徴としている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項６に記載の発明は、所定の情報を提示する情報提示装置で実行される情報提示方法であって、過去の走行履歴に基づいて現在の走行状況が往路に該当するかを判定する判定工程と、前記判定工程において往路と判定された場合は、前記走行履歴に基づいて主要目的地の予測滞在時間を算出し、算出された前記予測滞在時間に基づいて復路において立ち寄りが予測される施設に到着する到着予想時刻を提示する提示工程と、を含むことを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
過去の走行履歴に基づいて現在の走行状況が往路に該当するかを判定する判定部と、
前記判定部において往路と判定された場合は、前記走行履歴に基づいて主要目的地の予測滞在時間を算出し、算出された前記予測滞在時間に基づいて復路において立ち寄りが予測される施設に到着する到着予想時刻を提示する提示部と、
を備えることを特徴とする情報提示装置。

【請求項２】
前記提示部は、前記到着予想時刻に加えて、さらに、当該施設又は当該施設への経路についての付随情報を提示することを特徴とする請求項１に記載の情報提示装置。
【請求項３】
前記提示部は、復路において立ち寄りが予測される施設に到着する前記到着予想時刻とともに、往路に立ち寄りが予測される施設に関する情報も提示することを特徴とする請求項１または２に記載の情報提示装置。
【請求項４】
前記走行履歴は、出発地、到着地、前記到着地における滞在時間の情報を含む履歴情報に基づいて、前記到着地毎に拠点、前記主要目的地、往路又は復路の情報が付加されていることを特徴とする請求項１から３のうちいずれか一項に記載の情報提示装置。
【請求項５】
前記判定部は、前記拠点を出発後、前記主要目的地を通過していない場合に前記現在の走行状況は往路と判定することを特徴とする請求項４に記載の情報提示装置。
【請求項６】
所定の情報を提示する情報提示装置で実行される情報提示方法であって、
過去の走行履歴に基づいて現在の走行状況が往路に該当するかを判定する判定工程と、
前記判定工程において往路と判定された場合は、前記走行履歴に基づいて主要目的地の予測滞在時間を算出し、算出された前記予測滞在時間に基づいて復路において立ち寄りが予測される施設に到着する到着予想時刻を提示する提示工程と、
を含むことを特徴とする情報提示方法。
【請求項７】
請求項６に記載の情報提示方法をコンピュータにより実行させることを特徴とする情報提示プログラム。
【請求項８】
請求項７に記載の情報提示プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータにより読み取り可能な記憶媒体。